



# 兵庫支部 NEWS H22年 4月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール [hn75kb@ybb.ne.jp](mailto:hn75kb@ybb.ne.jp)

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 兵庫支部総会は7月3日(土)11時～ 於ホテル北野クラブ六甲荘

3月19日(金)兵庫支部月例会「三金会」が午後6時から本館牡丹園で開催された。

出席者は大村実良支部長(33商) 平間正昭(37商) 山本信司(37米英) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 赤松初夫(40米英) 安徳信義(44商) 澤田英憲(44商) 以上8名



(山本、名越、二宮、明亮、安徳、大村、澤田、平間)

いつもの通り雑談で始まった三金会、関西支部の最近の動き:ハイキングクラブを準備中について、4月に開催される会長選考委員会についてなど、また新日鉄広畑で活躍する安徳氏子息についてとか、美味しい料理に、旨い紹興酒とビールで、和やかなひとときを過ごす。

安徳副支部長兼幹事長が中心となって準備している兵庫支部総会・懇親会について、例年通り7月第1土曜日の7月3日午前11時から開催する予定で、会場を十数年前に一度開催したことがある「六甲荘」を予定していると報告があった。

5月2日(日)に開催予定の役員会において正式決定の運びとなる。

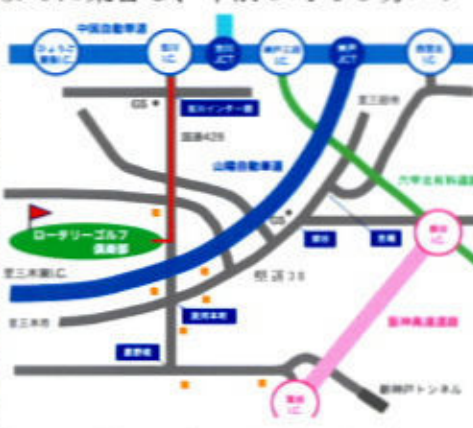
六甲荘の正式名称は、「ホテル北野クラブ六甲荘」  
所在地:神戸市中央区北野町1-1-14 Tel.078-241-2451  
三宮駅から北へ徒歩約12分、新神戸駅から南西へ徒歩約12分(下図参照)



## エントリーは 関西8名、兵庫17名 関西・兵庫合同開催ゴルフコンペ

4月21日(水)に12年ぶりに関西支部・兵庫支部合同開催ゴルフコンペの組み合わせが決まり、エントリー総数は25名、関西支部から8名、兵庫支部から17名(ゲスト参加の4名を含む)となった。

会場はロータリーゴルフ倶楽部で、午前8時45分までに集合し、午前9時45分スタートの予定。



中国自動車道の場合、吉川ICを下りて直進、進入路が右手にある(約10分)  
山陽自動車道の場合、三木東ICを下りて一ツ目の信号を左折次に御坂の信号を左折、暫く直進後淡河本町の

信号を左折、進入路が左手にある。(約20分)

### エントリーリスト

関西支部:梶山泰彦(30米英)、大塚隆(33商)、中村一弘(37商) 羽山忠男(39商)、三本寛(41中国)、城戸善弘(中国) 松尾祐嗣(45経営)、御堂隆輝(47経済)

兵庫支部:鷹野哲雄(33商)、河野旺生(36商)、平間正昭(37商) 山本信司(37米英)、村上勝幸(37商)、後藤公一(38) 永翁正臣(41商)、葉室新人(41米英)、名倉勝征(41) 久芳健二(44中国)、山田統昭(44商)、澤田英憲(44) 松山仁(44商)、井上隆令(会友)、山浦邦夫(会友) 謝 美華(会友)、富山幸子(会友)

### 組合せ表(太文字は関西支部)

- 09:45 松尾祐嗣、松山 仁、御堂隆輝、富山幸子
- 09:52 梶山泰彦、鷹野哲雄、河野旺生、謝 美華
- 09:59 大塚 隆、平間正昭、山本信司、村上勝幸
- 10:06 中村一弘、後藤公一、永翁正臣、葉室新人
- 10:13 羽山忠男、名倉勝征、久芳健二
- 10:20 三本 寛、山田統昭、澤田英憲
- 10:27 城戸善弘、井上隆令、山浦邦夫



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

## 大村保険サービス

代表 大村実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

### 兵庫支部4勝、関西支部11勝 第14回兵庫・関西囲碁交流戦

平成15年2月に始まった兵庫支部「囲碁の会」と関西支部「囲碁同好会」との交流戦は、毎年春と秋に開催場所を大阪と神戸に交互に設定して開催され、今年で8年目になり第14回囲碁交流戦が兵庫支部囲碁の会定例会場である本館牡丹園3Fで4月4日(日)の午後1時から開催された。



(囲碁交流戦風景)

関西支部から藤本隆夫7段(47経済)小葉竹英樹4段(40商)及び会長の都留猛3段(32米英)の3人が参加し、兵庫支部から、大岡一成7段(指導者)平間正昭3段(37商)名越英昭2級(37米英)前原賢作3級(40商)および安徳信義4級(44商)の5名が参加して熱戦を繰り広げた。



(大岡・藤本7段同志の対決)

連敗中の兵庫支部はなんとか一矢を報いたいと健闘するも、有段者ばかりの関西支部と級位者が多い兵庫支部では、ハンデ戦とはいえず実力の違いは歴然としており、またまた4勝11敗という大敗を喫してしまった。兵庫支部会員の中にも高段位の碁打ちがいるはず、是非囲碁の会に参加して欲しいものだ。

午後6時ごろ終了し、大村兵庫支部長も参加して、同店1Fで懇親会を開催した。

当日の戦績は下記の通り。

#### 第14回兵庫・関西囲碁交流戦 平成22年4月4日(日)

	藤本7段	小葉竹4段	都留3段	
大岡7段	X	○	X	1勝2敗
平間3段	X	○	X	1勝2敗
名越2級	X	X	X	0勝3敗
前原3級	X	○	○	2勝1敗
安徳4級	X	X	X	0勝3敗

兵庫支部4勝11敗、関西支部11勝4敗  
通算成績：兵庫支部3勝11敗(チーム対抗)  
117勝171敗2分(個人戦)

### 「三金会」「囲碁の会」会場ご案内 本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

#### 「三金会」

毎月第三金曜日午後6時～  
会費：3,500円(男性)  
2,000円(女性)

#### 「囲碁の会」

毎月第三金曜日午後3時～  
参加費：無料、ドリンク/500円



### 「囲碁の会」第15回リーグ戦終盤に

昨年11月から始まった第15回リーグ戦が、近くなり、10勝1敗で大岡7段が、圧倒的な強さを発揮して連覇濃厚である。2番手に8勝2敗と健闘している赤松3級が初優勝の可能性も残している。

4月または5月例会で決着が付きそうだが、メンバー全員が集まる時が少なく、全対局が完了するまでに途中で区切られる可能性もある。

例会は毎月第3金曜日午後3時からとなっているが気の早い人は1～2時頃から来場し囲碁を楽しんでいる。3月例会までの戦績は下記の通り。

	大岡	平間	山本	名越	赤松	前原	安徳	河野	
大岡7段	○	○	○	○	○	○	○		10勝1敗
平間3段	X		X	○	X		X		3勝6敗
山本初段	X	○		○	X	X	○		6勝3敗
名越2級	X	X	X		X		○	X	2勝9敗
赤松3級	X	○	○	○		X	○	○	8勝2敗
前原3級	X		○		○		○		3勝2敗
安徳4級	X	○	X	X	X	X		X	1勝11敗
河野7級				○	X		○		2勝1敗

腹案を	三月は	国会の	否決まで	視界不良	投稿川柳
ハラハラしながら	腹案四月	ミスターリリーフ	握るマグロに	イバラの道へ	四月五日投稿
仲縄県民(思)	五月腹切り(思)	脂ボタンま	鯖が染み	思業手	初飛行
		安定	思		

### 投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています  
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

### 広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

## 世界遺産熊野古道ウォーク

### 第12回牛馬童子口から小広王子へ、8.5km

第12回目の熊野古道ウォークは、いつも水曜日にエントリーしていたが、満席とのことで月曜日に振替3月8日(月)の参加となった。参加者は25名とほぼバスは満席。

牛馬童子口バス停は道の駅熊野古道中辺路となっている。(写真右)



熊野古道館で合流した語り部さん山本さん(女性)の先導でバス停向かいの山道を少し上り、旧国道に出で準備体操の後、3分程旧国道を歩き、左の山道へ入って行く。



今回は古道らしい山道と舗装道路を交互に歩いた。程なく和歌山城

(旧国道から山道へ) から26里を示す「一里塚」にやってきた。ここから杉木立の中を数分行くと牛馬童子のある箸折峠に到着した。花山法皇がカヤの軸を折って箸にしたので「箸折峠」カヤの軸の赤い部分に露(山本語り部)がつたうのを見て「これは血か露か」と尋ねられ、近露という地名になったとか。

少し小高い所に、花山法皇の旅姿と言われる可愛い牛馬童子と、その横には役の行者像という石仏がある。その裏手には、



県指定文化財の宝篋印塔がある。ここから10分ばかり下り、(牛馬童子と役ノ行者の石仏旧国道に戻ると前方に満開の桜が迎えてくれた。また



すぐ山道を上って下って、また旧国道に戻ると日置川に、ここでも水垢離が行われたのだ。やがて「近露王子跡」に到着。藤原定家によれば滝尻について近露でも歌会が行われたという。

右の碑の文字は大本教主(満開の桜の出会い)出口王仁三郎の書だと。昭和10年宗教弾圧により出口王仁三郎の筆跡の碑はことごとく破壊され辛うじ残っているのはここだけとか。



近露公園で昼食を予定するも、弁当の配達が大幅に遅れ、再出発は13時半を過ぎた。先ず訪れたのは、



「野長瀬氏・横矢氏一族の墓所」(写真左)

「太平記」にあるが護良親王の危急を救い、その功により横矢姓を賜る。南朝を助けたが、利あらず近露に戻り勢力を張った。豊臣氏の紀州征討に抗い一族離散、数10年後近露に戻り現在に至っている。

紀州征討の頃までのものと思われる五輪54基、宝篋印塔6基が発掘されここに祀られ、県指定文化財となっている。

旧国道から山道へ、10分後には舗装された林道の

緩やかな坂道を上って行き再び旧国道との合流地点にやってきた。ここから見える山の稜線が右上の写真である。乙女の寝顔と呼ばれているようだ。その様に見えますか?



ここから2~3分で「比曾原王子跡」だ。旧国道から少し上った所に石碑のみがある。(写真右)



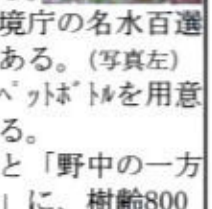
旧国道を少し上りながら進むと和歌山城から27里の「一里塚」があり、廻りの景色からかなり高地にあることが判る。

旧国道少し下りた所に環境庁の名水百選の一つ「野中の清水」がある。(写真左)

語り部さんの勧めで各自ペットボトルを用意して清水を詰めて持ち帰る。

一廻りして旧国道に戻ると「野中の一方杉」のある「継櫻王子社」に、樹齢800

年と言われる杉の大木の枝が熊野那智大社がある南向きにのみ伸びているので「一方杉」と呼ばれている。(写真右)



少し東へ行くと古い日本家屋が左手に見えてきた。「とがの木茶屋」と呼ばれる茶店で、今も営業している。

さらに進むと「秀衡櫻」の大木がある。(写真右下)

奥州の藤原秀衡夫妻が熊野参りの際、滝尻の岩屋で出産し、その子を産してここまで来て、杖にしていた桜の木を地に突き刺し、子の無事を願ったとされ、その木が生長したのが秀衡櫻といわれている。

旧国道沿いの古い民家の庭先に「安倍晴明の腰かけ石」という立札があった。(写真左)



平安時代の陰陽道の大家安倍晴明がここで腰をおろしている時、上方の山が急に崩れそうになり晴明は得意の呪述により崩壊を未然に

防いだと伝えられている。

この辺りの集落はかつて義務教育を免ぜられていた程、交通が不便な山村だったとか。

やがて「中川王子跡」の説明板がある。(写真右) 王子跡はこの坂道の奥にあるらしいがなぜかオミ

ットされた。新高尾トンネルの前を通過し本日最後の山道コースに入り、10分位で本日ゴール地点「小広王子跡」前に到着した。道路建設でここに移設されたが、石碑の上部が欠けて「王子」の文字を残すのみとなっている。(写真左)

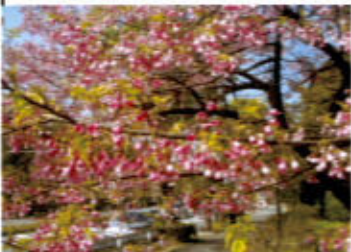
帰りのバスの中でこの地の方言を披露。龍の字を田の字形に並べ(64画)ペチ、すごいという意、アガラは私達、ナットウはどうしてる。ご存じですか?



### 歩こう会3月例会

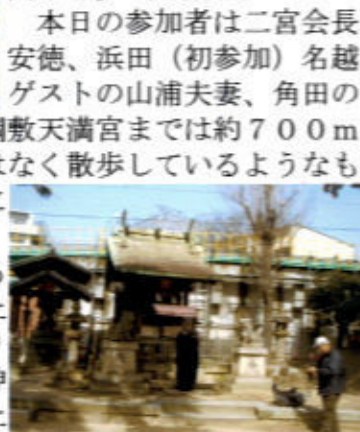
## 親梅ポイント求めて須磨天満宮・離宮公園

3月14日は親梅には少し遅いか、という不安の中須磨の天神さんとして親しまれている綱敷天満宮を訪ねることになった。山電須磨駅前集合は午前11時と遅めの集合時間だったので、筆者は名谷から集合場所まで歩くことにして、約1時間半で到着した。



途中離宮公園横の道路脇にはカンヒザクラが満開となっており思わずカメラを向ける。(写真左)

本日の参加者は二宮会長 安徳、浜田(初参加) 名越 ゲストの山浦夫妻、角田の7名である。駅前から綱敷天満宮までは約700mほど。ウォーキングではなく散歩しているようなものだ。綱敷天満宮の手前に謡曲「絃上(ゲンジョウ)」でうたい語られ知られている琵琶の名手藤原師長と村上天皇にまつわる伝説によりこの地に村上天皇を祭る神社が建てられたという村上帝社に立ち寄る。



(村上帝社に立ち寄る)



綱敷天満宮に到着。(写真左) 境内には梅が数本あるが殆んど散ってしまっている。こうなれば須磨離宮公園まで行くしかないようだ。

ここには「なす」の花は一つの無駄もなく実を結び、又「なす」「成す」と語呂が同じで、「なすのこしかけ」に腰かけ祈れば願いが叶えられるという。(写真左)



また時流の波に乗ることを祈願する「波乗り祈願」像なんていうものがある。

すぐ隣にある「諏訪神社」にもお参りし、須磨寺町の商店街を歩いて須磨寺へと向かう。山電月見山駅前には「平重衡とらわれの遺跡」の石碑がある。生田の



森から須磨まで逃げてきたが、源氏の捕虜となった副将軍平重衡が土地の人に濁酒をすすめられ詠んだのが

ささほろや  
波ここともを打ちすぎて  
須磨でのむこそ 濁酒なれ

「智慧の道」と称される須磨寺前商店街を通り抜け須磨寺へとやってきた。ここの手洗い所に眼鏡をつけたゴリラの様に見える岩？があり頭上の天蓋からは白い霧が下りて神秘的な雰囲気を出していた。(写真右) 以前からあったのだろうか？何回も訪れているのだが今まで気がつかなかったなあ！



須磨寺の代表的なカメラスポットと言え「源平の庭」だろう。(写真右)



須磨一の谷での合戦で平敦盛と熊谷直実の一騎打ちの様を銅像化したものだ。敦盛愛用の「青葉の笛」が宝物館にある。

須磨寺を後にして昼食予定地離宮公園へと急ぐ。すでに12時を廻っているのだ。緩やかな坂道を上って公園の正面玄関へ、入場してすぐ植物園に直行するとカンヒザクラが満開で出迎えてくれた。梅花を親



にきたのに！それでもその前で記念撮影(写真右)をして、梅林へと向かうと、ここではいくらか梅花は残っていた。その一角にあるテーブル席を先着した安徳氏が確保し、弁当を広げ酒盛が始まった。(写真左下)

すでに午後1時を廻っていたのと、盛りを過ぎていた所為か、親梅客もそれほど多くなく、ゆっくりと食事をする事が出来た。



梅林の足元に植栽されていた菜の花は満開だった。

食事の後は腹ごなしを兼ねて園内を散策。茶室のある日本庭園には水琴窟があり、それぞれが竹筒を耳に当てて妙なる音色を聞いたり、在原行平が月見の松の跡の石碑などを訪ねて、須磨離宮公園のシンボリック景観である噴水のある池(写真下)で暫く休憩し散会とする。

水琴窟を聞く浜田氏



今回は浜田勝義氏(44米英)が初めて参加され、これからも歩こう会に積極的に参加して頂けそう、又久し振りに参加の山浦夫妻も元そうで何よりでした。

散会后皆さんと別れ、離宮公園の裏山を經由して自宅まで、歩数計は3万歩を示していた。

## 歩こう会5月例会 大阪渡船場めぐり

かつて31か所あった渡船場は現在8か所になっています。天保山渡船では、日本一低い山天保山山頂に行きます。8か所全部廻ると約20キロ、今回は一部のみ約12キロ位歩きますが平坦な道です

5月9日(日) JR桜島駅前午前10時集合  
阪神三宮駅08:53 JR三宮駅 08:55快速  
西九条駅 09:30 JR大阪駅 09:23  
JR西九条駅09:38 JR大阪駅 09:31  
JR桜島駅 09:47 JR桜島駅 09:47  
(弁当・飲み物途中で調達可能)